

会議名	第3回区議会インターネット映像配信及び会議録検索システム更新業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	平成30年3月16日（金曜日）午後2時56分から4時00分まで
開催場所	議会棟3階 会議室
委員	内田委員（委員長）、大滝委員（区議会事務局長・副委員長） 岡本委員、西藤委員、有賀委員（企画経営部区長室長）、若杉委員（総務部情報政策課長）
事務局	区議会事務局議会広報担当
会議次第	1 開会 2 第2次審査について 3 採点結果・審査講評 4 事業候補者の決定 5 その他 6 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 第2次審査について ・資料2 採点基準表【第2次審査】
会議の内容	
	【会議の結果及び主要な発言】 (プレゼンテーション事業者 1社 株式会社フューチャーイン) 【質疑応答】 D委員 議事録の質問と答弁が見やすくなっているが、スマホでも同じように見られるか。 事業者 スマホではあえて上下で2画面にしている。 E委員 見積の中で議会年報のデータ化費用があるが、具体的にどのような作業をイメージしているか。 事業者 データベース化するための器を用意し原稿を登録していくが、どのようなものをどこへどのように登録するか、しっかりお聞きして検索性のいいように登録する。この部分は弊社が考えるものとお客様が意味されているものと違いが出てくるので、仕様書通りの同期を考えて取り組んでいきたい。 E委員 議員の質問に対して、その役職の理事者が過去どのような答弁をしたか検索するが、役職名が変わることがあると現行システムではうまくヒットできない。それはどう改善されるか。 事業者 制限はあるが、複数の役職名を1つの仲間と認識させる機能を使う。

D委員	追加の提案で、議員の登退庁表示や議事録の自動作成は提案価格に入っているか。
事業者	その2つはオプションなので入っていない。
D委員	音声認識で港区独自の用語を辞書の中に加えていくのは保守の範囲か。
事業者	機械が認識するので、年2回ほど学習させないといけない。辞書というよりも音とか環境とか総合的なものを登録する、メーカー側の辞書の伝達費用も入っているサービスである。
D委員	スケジュール前倒しの件で、庁内の仮想化基盤の構築含めてリスクはどうか。
事業者	会議録検索システム、映像配信システムを旧システムから移行した経験もあり、10年以上実績が自社パッケージなので自信を持ってリスクがないと言える。ただ、議会文書なので一部カスタマイズしないといけない。ここは、しっかり協議させていただきたい。
A委員	セキュリティについて、同時外部アクセスで1,001件目が来たときはどのようなになるのか。
事業者	今後、アクセス数が1万件まで大丈夫になる予定。
委員長	大量パケットの拒否等セキュリティ対策について詳しく教えてほしい。
事業者	不正アクセスに対する2重チェック態勢を構築している。
E委員	カレンダー表示と会議録検索のリンクはできないのか。
事業者	数々のリンクができると話しているが、唯一開発できていない部分で、個別の日毎の委員会からリンクはなかなか難しい。ここは協議が必要になる。
	【審査講評】
A委員	安心して導入できると思う。導入にあたっては特にプロジェクトの進捗管理を十分協議すればいいのではと思う。
B委員	信頼できる業者で問題ない。ただ、庁内システムの仮想化基盤の運用体制が明確でないので、区のほうがイニシアティブをとって管理しなくてはと思う。
C委員	区民にとっても使いやすくなるようなデザインで便利な機能もたくさんついている。サポート体制もしっかりしている。
D委員	実績も豊富でかなり成熟した形で製品を開発していると思う。導入期間については別途区議会事務局と調整になるが、安心してまかせられる。
E委員	詰めきれていないところについては協議していくので、安心して任せられると思う。

委員長	<p>拡張性等も持っているシステムですので、運用期間にいろいろ相談しながらいいシステムに成長していけばと思う。</p> <p>以上、採点結果・講評を踏まえ、事業者2を事業候補者に決めたいが、よろしいか。</p> <p>了承。</p> <p>そのほか何かあるか。</p> <p>なし。</p> <p>それでは以上をもって第3回区議会インターネット映像配信及び会議録検索システム更新業務委託事業候補者選考委員会を閉会とする。</p> <p>閉会</p>
-----	--